

第2学年英語科学習指導案

指導者 高橋 将道

1 日時 平成27年7月3日(金) 2校時

2 学級 上田中学校2年3組 男子18名 女子17名 合計35名 南校舎4階2年3組教室

3 主題 Program 6 A Work Experience Program (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

4 主題について

小学校の外国語活動では、自分が行きたい場所や将来の夢について話すことをチャンツで体験してきている。音声で体験してきたことに加え、中学1年次から学習してきたことを活用し、より具体的に理由も添えて相手に伝えられることができるように指導したい。本単元では職場体験が話題となっている。由紀と武史が自分の訪問した職場や学んだこと等をウッド先生に話す。単元の最後には桃子が職業体験のことのみならず、将来の夢、そして自分が夢を実現するために必要なことをクラスで発表する内容となっている。新出の文法事項としては、不定詞の名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法の3つを扱う。

生徒は Program3 までに助動詞 will、must や、be going to、have to を使った表現を学習してきており、動詞の原形を使用した表現についてレディネスが成立しているものとする。また、新出文法の際は肯定文を Yes/No の疑問文・否定文に即座に変換するトレーニングを積んできており、これから表現力をさらに広げるために、疑問詞を使った疑問文の応答についてもトレーニングしていきたいと考えている。6月に実施した数研式標準学力検査(NRT)から、4技能をバランスよく指導するとともに、これからはさらに書く力を強化したいと考えている。

帯活動の中で、再度チャンツを経験させて全体のレディネスを整えて、新出文法がより定着するように配慮したい。また、アウトプットを音声だけで終わらせずに、話した内容、聞いた内容をまとめる段階では必ず書く活動につなげることを心がけている。そして、My Project5「将来の夢を語ろう」の時に、中身のあるスピーチを作ることができるように指導していきたい。

	正答率	全国比
聞くこと	86.7	113
話すこと	77.0	120
読むこと	62.4	118
書くこと	65.5	125

5 指導と評価の計画 (別紙)

6 本時の達成目標

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	
外国語表現の能力	夏休みにどこに行きたいかを、不定詞の副詞的用法(～するために)を用いて、理由や目的を添えながら書いている。 (生徒の記述例) I want to go to Tokyo Disney Land to see Mickey. I want to go to the library to read books.
外国語理解の能力	
言語や文化についての知識・理解	

7 本時の指導構想

(1) 本時のねらい

本時は、評価規準の「外国語表現の能力」の「夏休みにどこに行きたいかを、不定詞の副詞的用法（～するために）を用いて、理由や目的を添えながら書いている。」を主にねらったものである。

(2) 「論理の意識化を図る学習活動」にかかわって

【考えがいのある課題設定】

学習課題を以下のように設定する（2. 本時の課題を確認する。）。

Main Topic: Where do you want to go during summer vacation ?

課題解決の基となるのは新出事項である。これについては導入で使用方法を確認する（1. 新出文法にチャッツでふれる。2. パターンプラクティスをする。3. マッチングをする。）。

【「論理の思考型」を用いた言語活動】

帰納的思考を用いて考えを表現させたい。自分が行きたい場所について述べる表現活動の際に、行きたい理由を付け加えることで自己決定とする。また、マッチング活動の際、I want to go to に続く場所と、その目的や理由（不定詞の副詞的用法～するために）が適合するように組み替えることでも、帰納的思考が用いられる。

【かかわり合い】

本時では2度のかかわり合いを設定する。

1度目はペアで発表する練習を行う場面である（6. ペアで交流する。）。ここでは、自己決定した英文に理由をつけて伝えることができるようになることをねらいとする。

2度目はクラス全体に個の意見を発表する場面である（7. 発表する。）。全体の前で発表することで、出てきた意見の価値づけをし、その考えの良さを確認することをねらいとする。

【自己評価活動】

終末において自己評価活動を行う（8. 自己評価活動を行う。）。活動を振り返り、これまでの既習表現に加え、不定詞の副詞的用法を使用することにより、相手に理由や目的を伝えられることで、より深いコミュニケーションがとれるということを記述させたい。

8 本時の展開

段階	学習活動	教師の指導・支援	評価の観点・方法	教材 教具
導入 20分	0. 英語の歌を歌う。 I want to hold your hand 1. 新出文法にチャンツでふれる。 2. パターンプラクティスをする。 3. マッチングをする。ペアになり、10文を意味が通るように合わせる。 4. 本時の課題を確認する。	0. 英語の授業の雰囲気をつくる (不定詞/I think that の復習) 1. Where do you want to go? I want to go to Tokyo to see Skytree. (チャンツを使って導入) 2. Where do you want to go? I want to go to ○○ to 不定詞 3. 答え合わせの時に、理由を述べる前に教師が「Why?」と発問してから理由の部分を使うことによって、自然と Why?に対する返答ができるように気付かせる。終了したペアは作った英文を書くように指示する。 4. 本時の課題を提示する。	・論理的に go の目的語と理由を述べる to 不定詞を並べることができる。	・CD ・ワークシート ・ピクチャーカード
Main Topic: Where do you want to go during summer vacation?				
展開 25分	5. 夏休みの間に行きたい場所について、理由や目的を添えて書く。 【自己決定】 【帰納的思考】 6. ペアで交流する。 【かかわりあい①】 自分が行きたい場所を学級のメンバー5人に質問してメモをとり、レポートにまとめる。 7. 発表する。 【かかわりあい②】 指名して発表 自分が行きたい場所や友人が行きたい場所についてレポートする。	5. 夏休みの間に行きたい場所について、理由や目的を添えて書く。 I want to go to 場所 to 不定詞 I want to go to the library to study. I want to go to AEON to buy an EXILE CD.	5【外国語表現の能力】 夏休みにどこに行きたいかを、不定詞の副詞的用法(～するために)を用いて、理由や目的を添えながら書いている。 〈学習シートの記述〉 A:行きたい場所に理由が書いており、文法や綴りのミスがない。 C:書けない理由を探り、アイデア提供や文構造の指導を行う。	・ワークシート
終末 5分	8. 自己評価活動を行う。 9. 宿題を提示する。	・自分が行きたい場所を伝えるときに不定詞を使えば理由や目的も伝えられることが分かった。これから何かをしたいときに、理由を含めて伝えられるようにしたい。		

2年英語		単元名 Program 6 A Work Experience Program		総時間 8時間扱い	
学習指導要領の指導事項			単元の目標		
【話すこと (イ)】自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。 【書くこと (イ)】語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。			(1) 不定詞の3用法を正しく使って、自分の夢を伝えることができる。 (2) 間違うことを恐れず積極的に書くことができる。 (3) 英語語順に気をつけて本文をチャンクで区切り、理解することができる。		
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		外国語表現の能力		外国語理解の能力	
		表 語句や表現、文法事項などの知識を活用して職場体験に対する思いを書いている。		理 英語語順に気をつけて本文をチャンクで区切り、理解することができる。 (後日ペーパーテスト)	
時	主な学習活動	おおむね満足 (B)	十分満足 (A)	評価事例	
1	○本単元で身に付けるおおまかな内容を知る。(オリエンテーション) ○本単元で使用する単語を理解する。			4 Main Task Where do you want to go during summer vacation? 夏休みに行きたい場所を伝える (表・学習シート・発表) 学習シートへの記入、ペアや全体での発表場面の様子を評価対象とする。 ■おおむね満足 (B) ■十分満足 (A) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 夏休みにどこに行きたいかを、不定詞の副詞的用法(～するために)を用いて、理由や目的を添えながら書いている。(文意が通じる程度の綴りや語法の間違いは認める。) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 行きたい場所の理由や目的が書いており、文法や綴りのミスがない。 例) I want to go to Tokyo Disney Land to see Mickey Mouse . </div> </div> 【C：指導の手立て】 書けない理由を探り、アイデア提供や文構造の指導を行う。	
2	○不定詞の名詞的用法を使って表現する。	表 将来、どこに行きたいかを、不定詞の名詞的用法(～すること)を用いて書いている。	表 将来、どこに行きたいかを、不定詞名詞的用法(～すること)を用いて書いており、文法や綴りのミスがない。		
3	○教科書P55の読解	理 由紀が将来なりたい職業を読み取ることができる。	理 英語語順に気をつけて本文をチャンクで区切り、本文の内容に関する質問文をつくることができる。		
4 本時	○不定詞の副詞的用法を使って表現する。	表 夏休みにどこに行きたいかを、不定詞の副詞的用法(～するために)を用いて、理由や目的を添えながら書いている。	表 夏休みにどこに行きたいかを、不定詞の副詞的用法(～するために)を用いて、理由や目的を添えながら書いており、文法や綴りのミスがない。		
5	○教科書P57の読解	理 武史が働いたスーパーに、多くのお客さんが何のために来たのか、読み取ることができる。	理 英語語順に気をつけて本文をチャンクで区切り、本文の内容に関する質問文をつくることができる。		
6	○不定詞の形容詞的用法を使って表現する。	表 何をするためのものかを、不定詞の形容詞的用法(～するための)を用いて、書いている。	表 何をするためのものかを、不定詞の形容詞的用法(～するための)を用いて、書いており、文法や綴りのミスがない。		
7	○教科書P59の読解	理 桃子が夢を叶えるために何を学ばなければならないのか、読み取ることができる。	理 英語語順に気をつけて本文をチャンクで区切り、本文の内容に関する質問文をつくることができる。		
8	○自分の職場体験について、体験することや学びたいことを、5文以上の英文で相手に伝えることができる。	表 文法的に適切ではない表現が見られるが、既習の表現や語句を用いて書いている。	表 文法的な正確さが認められ、既習の表現や語句を用いてまとまりのある内容で書いている。		